山形市

山形市の令和5年度当初予算は、一般会計総額987億1、200万円を計上し、前年度比6億5、600万円減の0・7％マイナスとなる。投資的経費は95億1、774万円で前年比11億3、326万円減となった。減額の要因には前年度の西山形小学校及び山形商業高等学校の整備、南沼原小学校改築事業などがあったため、前年度比約6億4、000万円の減額、認定こども園施設整備などで約2億円ほど減額したほか、北山形駅バリアフリー化整備、コミュニティセンター整備事業などで約1億円ほど減額した形。その一方で、土木費については粋七エリア整備事業や前明石須刈田本沢橋流出防止対策事業、雪につよい消雪道路整備などで前年比約1億4、000万円ほど増額した。なお、主な事業は次の通り。※▼は新規

▼新広域斎場整備検討事業（104万円）＝上山市・山辺町を含めた2市1町の広域的視点で検討を行う。
▽粋七エリア整備事業（5億5、186万円）＝「粋な七日町」をコンセプトに街区整備行う。用地買収や移転補償等を行う
▽雪に強い消雪道路整備事業（1億9、325万円）＝本町東原線の工事、蔵王温泉地内線の13ほか1路線の継続工事など
▽西部工業団地公園内スポーツ施設整備事業（2、740万円）＝実施設計等
▽中心市街地歩行者空間創出等事業（1、171万円）＝山形駅前通り及びずらん通りのパークレット等の設置、七日町大通りの荷捌き施策の検討、シネマ通りの路面緑化を実施。
▽総合スポーツセンター改修整備事業（821万円）＝WiFi環境の整備、卓球台の新設など
▽済生館改築整備計画検討事業（市立病院済生館事業会計）（3、126万円）＝新病院整備基本計画の策定
▽小中学校校舎・屋内運動場大規模改造等事業（789万円）＝改修工事等
▽西山形小学校校舎等改築事業（1、215万円）＝既存校舎解体の設計等
▽南沼原小学校校舎等改築事業（1億834万円）＝既存校舎の解体工事など他
▽商業高等学校校舎等改築事業（6億3、197万円）＝既存校舎の解体工事等
▽第九中学校校舎増築事業（3、186万円）＝既存校舎の改修、自転車置場設置等
▽市立保育所整備事業（229万円）＝外壁修繕等
▽民間立保育所等施設整備事業（9、475万円）＝認定こども園の整備・大規模修繕等の補助
▽高齢者福祉施設整備事業（3万2、000円）＝事業予定者審査委員会の開催など
▽市民会館整備事業（1、152万円）＝事業者公募・選定手続きの実施
▽景観重点地区景観形成推進事業（3、277万円）＝山寺景観重点地区に馬形地区を追加指定し景観形成を推進など
▽重要文化財「鳥居」保存修理事業（2、562万円）＝保存修理工事など
▽五堰整備事業（691万円）＝石積み補修、除草及び浚渫など
▽霞城公園整備事業（5、193万円）＝土塁園路の整備、本丸御殿広場の整地工事、県体育館前通路整備基本設計を実施。
▽中心市街地活性化公園整備事業（130万円）＝第二公園の再整備計画で現況調査（縦横断測量）の実施。
▼大規模空き店舗等長期利活用検討事業（1、207万円）＝旧大沼と周辺エリアの基本方針策定及び基本構想検討
▼旧千歳館エリア・リノベーション事業（2、832万円）＝建物及び公園の基本設計を行う。
▽（仮称）山形北インター産業団地開発事業（2億4、221万円）＝造成工事など。
▽林道整備事業（3、162万円）＝新たに1路線の測量調査を実施。開設事業に着手など
▽七日町第6ブロック北御殿堰整備事業（1億2、000万円）＝堰の石堤化、歩道の整備工事など
▽七日町第8ブロック南地区暮らしにぎわい再生事業（1億8、277万円）＝山銀本店建替えに伴う多目的ホール・交流広場等の公益的施設整備を支援
▽本町第1ブロック南地区地域生活拠点型再開発事業（1億2、470万円）＝公益的施設を設置した分譲マンション整備を支援
▽企業立地促進事業費助成金交付事業（3、387万円）＝4企業に対し助成金を交付
▽山形市公設地方卸売市場の整備に係る基本構想策定事業（公設地方卸売市場事業会計）（1、511万円）＝再整備で基本構想の策定
▽道の駅整備事業（9億5、989万円）＝建設工事継続、アクセス道路改良工事
▼簡易型河川監視カメラ設置事業（2、092万円）＝中小河川等に設置
▼消防本部庁舎機能強化事業（6、051万円）＝仮眠室の個室化工事及び浴室の増築工事
▽スマートインターチェンジ整備事業（6、157万円）＝（仮称）山形PAスマートIC整備工事継続など
▽道路・橋りょう新設改良事業（6億7、739万円）＝（仮称）南山形防災3号線の路線測量及び概略設計、（仮称）山寺防災1号線の現況調査など他
▽あかねヶ丘公園再整備事業（6、292万円）＝公園北側の運動広場整備に着手
▽東消防署蔵王温泉出張所移転・建替事業（4億4、753万円）＝用地、地質調査、建築設計、上水道工事、市道付け替え工事、外構設計、建築工事など
▽上下水道広域化推進事業（水道事業会計）（5、490万円）＝水道施設の再配置に向け基本構想の策定
▽四日町山家町線沿線エリア（鈴川地区）居住環境向上事業（1、675万円）＝路線測量を実施
▽山寺地区景観形成（無電柱化）事業（2、100万円）＝無電柱化工事
▽街路事業（9億3、064万円）＝十日町八日町線、十日町双葉町線、諏訪町七日町線の整備推進、無電柱化及び幅広歩道の整備など
▽西部工業団地公園再編事業（1億7、480万円）＝農業用施設（水路及びパイプライン）の付け替え工事、盛土造成工事を実施
▽小白川住宅・天満住宅老朽化対策事業（904万円）＝天満住宅の解体実施設計
▽河川緊急浚渫事業（1、000万円）＝堆積土砂の除去、樹木の伐採、浚渫など
▽下水道（雨水）整備事業（公共下水道事業会計）（12億5、867万円）＝雨水施設の整備
▽市街地浸水対策事業（公共下水道事業会計）（1億1、078万円）＝雨水施設への接続箇所の増設、集水機能の強化工事など
▽上下水道部災害対策強化事業（水道事業会計）（4、101万円）＝配水ブロックの整備など
▽上野最終処分場第2期整備事業（3、375万円）＝実施設計（2カ年）
▽本庁舎長寿命化事業（照明LED化事業会計）（5、736万円）＝LED化工事
▽コミュニティ支援事業（集会所整備等支援

式・総合評価落札方式（施工能力評価型（Ⅰ型））・VE方式・出来高部分払方式）（米沢市万世町刈安～米沢市窪田町小瀬地内）
3月15日開札
▽東北中央自動車道（山形地区）道路附属物復旧（単価契約）（総合評価落札方式（施工能力評価型（Ⅱ型）））（米沢市万世町刈安～米沢市窪田町小瀬地内）
［参加資格］＝維持修繕
▽同（福島地区）同（同）（同）（福島県福島市笹谷字上畑～米沢市万世町刈安地内）
［参加資格］＝前同
以上2件、2月21日まで受付、3月22日開札

飯豊山系砂防事務所

▽5年度飯豊山系砂防事務所管内流量観測（簡易公募型総合評価落札方式）
［参加資格］＝測量
2月24日まで参加表明、3月13日まで技術提案書提出、3月24日開札
▽5・6年度飯豊山系砂防事務所管内砂防設備巡視点検（簡易公募型総合評価落札方式）
［参加資格］＝土木関係建設コンサルタント
2月24日まで参加表明、3月16日まで技術提案書提出、3月30日開札

山形森林管理署

▽岩根沢林道改良（施工体制確認型総合評価落札方式（簡易型運用版）・ICT活用工事（施工者希望型））（西川町綱取外2字長倉外11国有林125林班地内外）
［参加資格］＝土木A・B・C等級
2月27日まで受付、3月24日開札

山形森林管理署最上支署

▽古巻沢治山（施工体制確認総合評価落札方式（簡易型運用版）・ICT活用工事（施工者希望型））（戸沢村蔵岡字前山国有林2259林班地内）
［参加資格］＝土木A・B・C等級
2月24日まで受付、3月23日開札

置賜森林管理署

▽蟹ヶ沢地すべり調査（総合評価落札方式）（米沢市板谷字漬場沢国有林205林班地内）
［参加資格］＝建設コンサルタントの森林土木A・B等級
3月1日まで受付、3月28日開札

酒田港湾事務所

▽作業基地カーブミラー更新（オープンカウンター方式）（酒田市高砂地内作業基地内）
2月21日まで見積書提出 2月22日見積合わせ

防衛省神町駐屯地

▽483建物電子制御盤交換（神町駐屯地内）
2月20日入札

県港湾事務所

▽（繰越）港湾施設長寿命化対策事業費（港湾施設改良費補助）酒田港石油基地航路護岸補修（簡易Ⅱ型（通常型）総合評価落札方式・事後審査方式）（酒田市大浜地内）
［参加資格］＝土木A等級
2月22日まで受付、3月8日開札

本庁

▽（繰越）土砂災害警戒避難情報提供（防災安全・情基）（国補正）土砂災害警戒情報発表基準検討
3月1日開札
▽（繰越）土砂災害対策（防災安全・総流防（国補正））航空レーザ測量（東南村山工区）（簡易型総合評価落札方式・事後審査方式）（山形市松波外地内）
［参加資格］＝航空測量
▽（同）同（同）同（西村山工区）（同）（寒河江市西根外地内）
［参加資格］＝前同
▽（同）同（同）同（北村山工区）（同）（村山市楯岡笛田外地内）
［参加資格］＝前同
以上3件、3月2日まで受付、3月10日開札
▽高坂ダム外2ダム長寿命化計画策定（更新）（公募型プロポーザル方式）提案上限額6,503万2,000円
［参加資格］＝建設コンサルタントの河川、砂防及び海岸・海洋部門及び鋼構造及びコンクリート部門
2月22日まで参加表明、3月1日まで企画提案書提出、3月下旬契約予定

「ゆきみらい in 会津」開く

47団体・企業が出展

本県からも参加

東北地方整備局などが主催する「ゆきみらい2023 in 会津」が8日と9日の二日間にわたって、福島県会津若松市の鶴ヶ城体育館・文化センターを会場に開かれ、地方の雪国文化や冬期の雪氷技術など関係者が交流し情報交換を行った。＝**写真**＝

鶴ヶ城体育館で開かれた見本市には、行政機関や民間企業などから47団体・企業などが出展。このうち、国内防雪柵のトップメーカー・理研興業(株)（本社・北海道小樽市・柴尾耕三社長）のほか、本県からは日本地下水開発（株）（本社・山形市・桂木宣均社長）も出展。理研興業はCLT（直交集成材）防雪柵を展示し新製品を紹介。日本地下水開発は無散水融雪システムや高効率な冷暖房を実現した帯水層蓄熱システムなどを紹介した。

また、文化センターで開かれた研究発表では、理研興業がCLTを利用した防雪柵の開発研究を発表。CLTの直交集成板は繊維方向を直交させることで、従来からの木製防雪柵に使用された丸太材よりも安定し高い強度性能が得られたと説明。大きさや精度も自在に設計できる利点もあるため、防雪柵への適用が期待されるとした。ただ、防雪効果については一部の防雪効果が確認できたが、今後も現地設置を想定した検証を引き続き実施する必要性を示した。

このほか、会津若松市におけるスマートシティの取組みなどによるゆきみらいシンポジウムによる特別講演のほか、パネルディスカッションなども行われた。

理研興業のブース

日本地下水開発のブース

県建築士会（伊藤彰会長）主催の第70回県内高等学校建築設計デザインコンクール最終審査会が10日、山形市の文翔館で開かれ、設計部門の最優秀賞に「挑戦する学び「受け身」から「好奇心」「探究心」育むことを目的とした中学校」（山形工業・木村春太）、模型部門に「高輪ゲートウェイ駅」（新庄神室産業高・五十嵐要、早坂真大、高橋比呂、今田和輝、佐藤秀星）の作品が選ばれた。

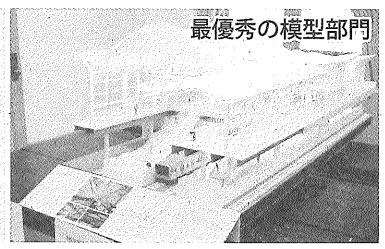
山形、米沢、鶴岡の工業高、新庄神室産業高、創学館高などが応募。審査は独創性、デザインと芸術、表現力などのテーマで行われ、県土整備部建築住宅課営繕室長谷川学室長のほか、県建築士会の伊藤会長、各高校の担当教諭、担当役員が審査した。

講評で県建築士会（教育・事業委員会担当）中川善雄常務理事が、どの作品も発想力、好奇心あふれる作品ばかりだったと述べ、この中で模型部門の最優秀作品はプロレベルで何処に出しても恥ずかしくない最高傑作と絶賛。「今回、入賞しなかった方々は来年度にいい作品が応募されることを期待している」とあいさつした。

今回最終審査に入った作品と「2022年第3回高校生の建築甲子園」で全国ベスト11（審査委員長特別賞）を受賞した新庄神室産業高の作品は文翔館で展示される。

なお、主な入賞校は次の通り。

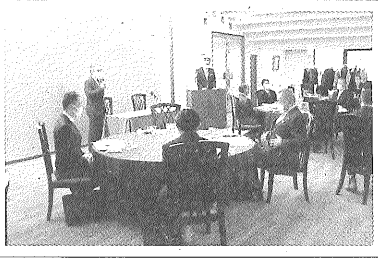
［設計部門］
▽準優秀賞
「国道7号線周辺活性化計画」（鶴岡工業・藤原良翔、水口真那杜）
［模型部門］
「FIVE2～映像を五感で楽しむ～」（鶴岡工業・佐藤瑞穂、長南決）


最優秀の設計部門

最優秀の模型部門

県内高校設計コンクール最終審査

最優秀に山形工業 新庄神室産高に



県板金工業組合山形支部 長岡支部長を再任

県板金工業組合山形支部（長岡功一支部長）の令和5年第121回通常総会が10日、山形市の山形グランドホテルで開かれ、任期満了に伴う役員改選で長岡支部長の再任を決めた。＝**写真**＝

総会に先立ち長岡支部長は、コロナ禍の影響でこれまで各事業を自粛してきたことにふれ、今年5月から季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げられることから自粛してきた事業を徐々に行っていく事を明らかにし、今後も会員の協力と結束を呼びかけあいさつ。来賓の県板金工業組合の鬼澤義昭理事長も祝辞した。

令和5年度事業計画では、組合組織の強化を図るほか技能検定講習会（青年部事業）に対する支援・労働安全衛生等講習会の実施共同購入について会員への協力依頼や全板同

営業品目
◇SK側溝（円形水路）
◇SKオール（片土留側溝）
◇SK石壇ブロック
◇オリロック（大型化粧積ブロック）
柔&剛
ヤワラカ思考のトップレベル技術者集団。